





3歳児クラス 2月 第1回 「はじめてのおつかい」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

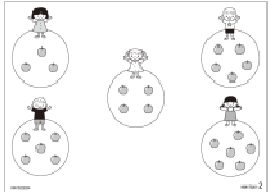
シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の揺れる気持ちが伝わるように、感情を込めて読む。 「ぎゅうにゅうください」という繰り返しのコトバを、主人公の心の動き（不安気やか細い声・勇気を出して思い切り出した大きな声）にあわせて表現する。 終わりの余韻も大切。お母さんの待つお家に帰る後姿を皆で見送るように終了しく活動①>へと繋げる。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：「みんなはどんなお手伝いをしたことがある？」「自分でお買い物したときある？」など、子どもたちに問いかけ、お買物に対して興味を引き出してからお話を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと一緒にお話を楽しむ 	

がくしゅうタイム

活動①	ことば	「ください」「ありがとう」と大きな声でお買物をすることができます。	
設問	「ください」「ありがとう」「欲しいもの」を伝えてお買い物にチャレンジ。いろいろなお店でお買物をしてみましょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「みいちゃんお買い物のできてよかったね…みんなだったらお買い物のできるかな」 保：「今日は皆もお買い物してみてくださいってお手紙届いてますよ」とプリントの入った封筒持って登場。 	教材	P1 子どもカード（男女・両面テープ付） お買物カード（5種） トレイ・ボード等 （買い物カードを見やすく提示する） ※子どもカードは一人男女各1枚ずつ発送しました。自分みたくて男女選んでもよし、本人に自由に選ばせ名前を付けても楽しい。カードは△立体型に底辺を両面で貼り合わせて準備をお願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> 講：「みんなもお買ものしてみる？」とプリント提示。 保：プリント配布。 講：みんなで何屋さんがあるかプリントの地図を見ながら確認。「お店で買えるもの」としてお買物カード5種も紹介していく。 保：「私たちと一緒に連れて行って」と子どもカード提示（事前に立体型に加工しておく）。配布（男女選び方は指示を出す） 講：子どもカードを選び取り、今日のお買物の約束を皆で確認する。 約束①お店屋さん（先生）に向かって欲しいものを聞こえるように伝える ②大きな声で「ください」「ありがとう」も言う。 「まずは先生買ってみるから見てね。どこのお店屋さんから行こうかな」と地図の上を子どもカードを使って「すごろく方式」で自宅からスタートし、「まっすぐ進んで左にあるお店は何？」と子どもたちと一緒に確認。 「本屋さんで本を買ってみるね」 <p>見本行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 保：買い物カードをトレイに並べて登場。 講：「ください」 保：「何が欲しいですか？」 講：「本を一つください」 保：「どうぞ」 講：「ありがとう」 <p>※買い物のことばのやり取りの見本を見せる。途中「何て言えば良い？」と子どもに確認しながら進めても良い。</p> <p>見本に続いて子どもたちにも指示を出し、本屋さんから買物をスタートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子：講師の見本同様「本下さい」「ありがとう」ことばの意思表示をして買物をする。 ※買い物は保育士が子どもの所を回って買う、又は少し離れた所に保育士がいて子どもが順番に買いに行っても良い。 講：地図上の指示は以下を参考にしてみてください。 <ol style="list-style-type: none"> ①家の前の道をまっすぐ進んで左に本屋さん ②角を曲がって公園を横に見ながらまっすぐ坂道を上がったところに八百屋さん ③八百さんの前の道左に曲がって進んだ右にあるのがお菓子屋さん 	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> プリントの入った封筒持って登場 プリント配布 子どもカード提示 子どもカード配布 指示理解できない子のフォロー お店屋さんで登場 買い物見本行動、講師と会話 お店屋さんで子どものことばを受けて買い物カードを渡していく 不足のカード確認 賞賛

	<p>等と2～3か所一緒に進んで買い物を誘導。残りは時間と状況見て自由に買い物を楽しむ。</p> <p>※ポイントは記憶や位置ではなく、意思表示をして買い物を楽しむことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保：5種のカードを持って準備し子どもたちの「ください」の声に対応していく。積極的な子とそうでない子との差が大きく出る活動です。思うように言えない子に対して「何にしましょう?」「焼き立てパンいかがですか?」などスムーズに進む様に声をかけていく。 講：全員がすべての買い物を完了できなくても良い。時間を見て「そろそろお店が閉まります。買い忘れはないですか?」などと合図を出し頃合いを見て「お店は閉店です」と終了。皆が約束通り大きな声で買い物ができたことを賞賛。カードを確認して足りないものは「プレゼント」として渡していく。 <p>※カードを持ったまま<活動②>へ進む。</p>	
--	---	--

	<p>活動② <small>おらい</small> 数 「5こ」数え全体数を確認することができる</p>	
設問	<p>お買物で買ったものは全部でいくつになりましたか?数えましょう(5枚のカードを数える)。皆と同じ数だけりんごを買った子に〇をしましょう。</p>	
講	<ul style="list-style-type: none"> 講：「いくつ買い物できたか数えてみようか」カードの数を数え「5まい」を皆で確認する。 	<p>教材</p> <p>P2 活動①で買った買い物カード5種 持ち帰り用ビニール袋 クレヨン</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「八百屋さんでりんご買ってきたお友だちがいるよ」とプリントをめくる。「♪クイズ、クイズ♪買い物クイズ」「みんなと同じ数だけ(5こ)りんごを買った子に〇をしましょう」と出題。 ※途中、状況を見て「全員の〇の中のりんごをよく見て数えてね。一人とはかぎりませんよ」とヒントを出して良い。 講：正解を確認。はなまるやスタンプ等で賞賛して終了する。 ※買い物カードはビニール袋に入れて持ち帰る 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できない子のフォロー 賞賛 ビニール袋配布 カード、プリント回収

	<p>数子ヤレ <small>おらい</small></p>	<p>教材</p>
設問		
活動内容	<p>※<活動②>を数にヤレとします。</p>	<p>保育士の役割</p>